

2) 第2回調査(平成27年2月16、17日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-50に示した。調査日は2日間に渡り、前半16日には、調査実施前に降雨が確認されたが、7.5mmと少量であったため、平常時の調査として行った。また降雨が確認された16日の降雨量を図4.4-51に示す。

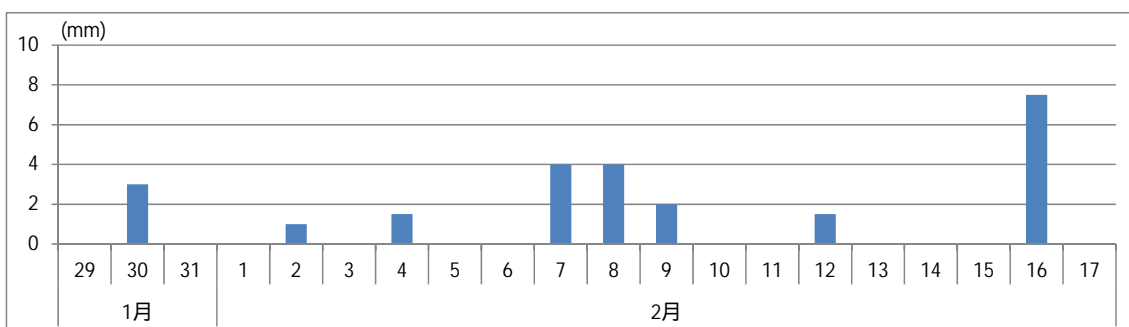


図 4.4-50 調査日前20日間の降雨状況(久米島観測所)

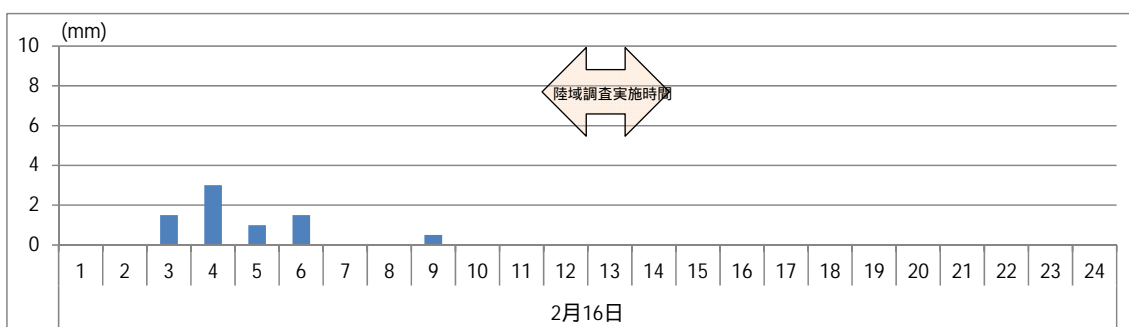


図 4.4-51 調査日前20日間の降雨状況(久米島観測所)

(b) 調査時状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-52 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

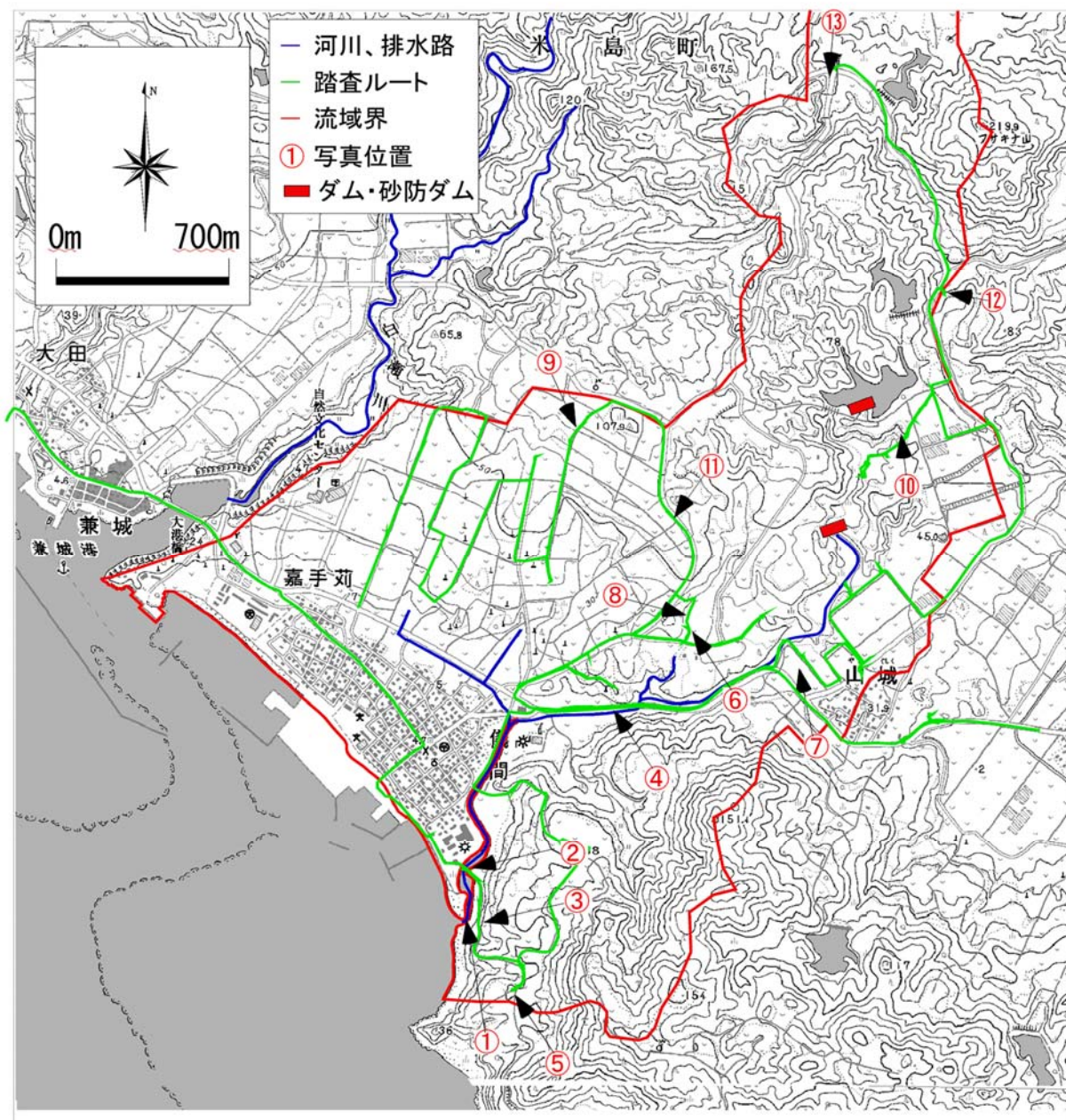


図 4.4-52 儀間川河口 陸域調査概要(2回目)

- ・ 河口域、河口直上において濁りは殆ど確認されなかった(地点)。



地点 河口域(濁りなし)



地点 河口域(濁りなし)

- ・ 昨年度第 1 回調査時から赤土流出を懸念された河口近くのサトウキビ畑には、マルチングが行われており、流出の可能性は減少した(地点)。しかし、一部分で裸地が確認されているため、流出の懸念は残る。



地点 河口そばの畑(改善)(1回目地点)

- ・ また、河川沿いの地点 においては、すぐ近くにサトウキビ畑があり、間に流出防止の構造物等が無い場合、昨年度から変わらず流出する可能性がある。また、流出痕も確認された。



地点 河川そばの畑(流出痕有り)(1回目地点)

- ・昨年度から確認されている造成裸地箇所(面積 40m × 25m 程度)では、H26 年度第 1 回調査時同様、前面に雑草類が覆っており、赤土等が流出しづらい状況となっていた(地点)。



地点 造成裸地前面に雑草が覆う。(1 回目地点)

- ・昨年度第 2 回調査に確認された、著しい濁水流出が見られた沈砂池は、今回、流出は確認されず、また沈砂池内の濁りも薄かった (地点)。



地点 沈砂池から流出無し(1 回目地点)



地点 沈砂池状況(濁りなし)(1 回目地点)

- ・ 昨年度確認した、流出源となりうる箇所(地点 ~)については、多くの箇所
で状態に変化が無かったが、H26 年度第 1 回調査時に改善の見られた地点
においては、雑草が減少し裸地が増加したため、流出可能性が増加した。



地点 流出可能性が有る畑(1 回目地点)



地点 流出可能性が有る畑(1 回目地点)



地点 昨年度流出可能性が有る畑(悪化)(1 回目地点)

- ・ 今回調査時に、新たに赤土流出の可能性が高い地点が確認された。それらの
地点では、道路への流出痕も同時に確認された。



地点 今回調査時に確認された度流出可能性が有る畑



地点 今回調査時に確認された度流出可能性が有る畑

- ・ 本流域の上流では、H26 年度第 1 回目調査時同様、儀間ダム工事は完成したが材料山の復旧工事等、大規模な工事が継続して行われていた(地点)。



地点 残土仮置き場及び材料山復旧工事看板



地点 残土仮置き場及び材料山復旧工事状況



地点 材料山復旧工事看板(1 回目地点)



地点 材料山復旧工事状況(1 回目地点)

(11) 嘉良川河口

1) 第1回調査(平成26年11月4日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-53に示した。調査日当日には雨が降らなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

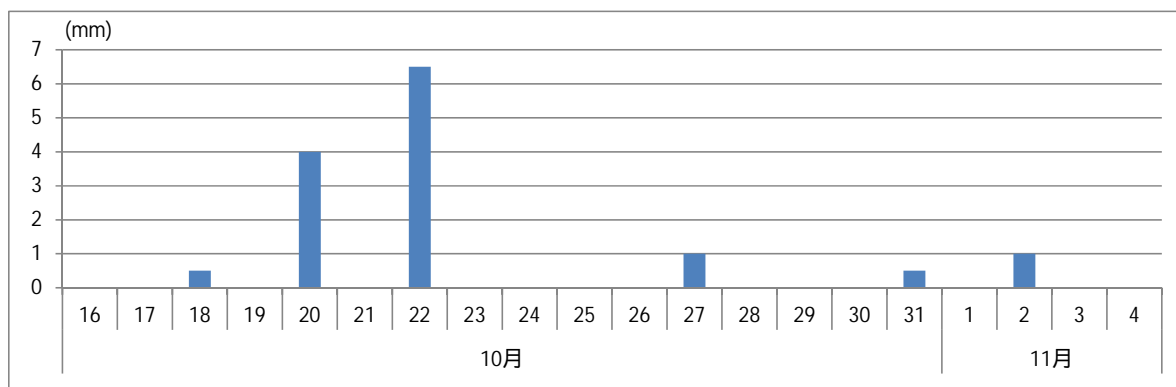


図 4.4-53 調査日前20日間の降雨状況(伊原間観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-54 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

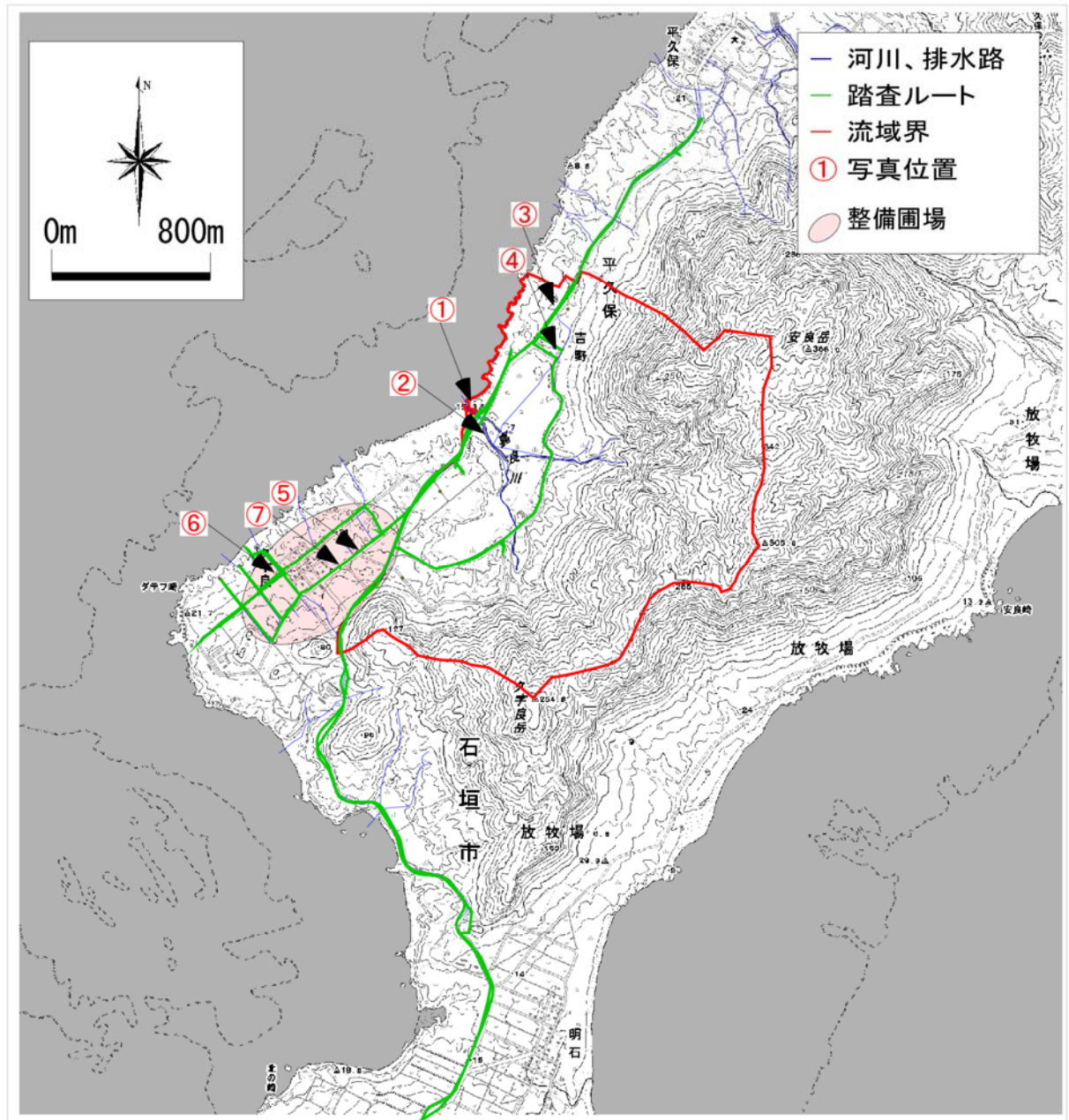


図 4.4-54 嘉良川河口 陸域調査概要(1回目)

- ・ 河口部において殆ど濁りは確認されなかった(地点)。
- ・ 河口上流側においても濁りは殆ど確認されなかった(地点)。



地点 河口域(濁り無し)



地点 河口直上上流(濁り殆ど無し)

- ・ 昨年度第2回調査時(2月)に確認した、嘉良川北側の重機を用いた伐採箇所では、現在草地造成工事が行なわれていた(地点)。



地点 草地造成看板



地点 草地造成中



地点 昨年度第2回調査時(2月)の状況

- ・昨年度第2回調査時に確認した水路への赤土等の流出が懸念される箇所では、今回も同じような状況であり、水路内に泥の堆積も確認された(地点)。



地点 流出する可能性がある地点



地点 昨年度第2回調査時(2月)の状況

- ・また、グリーンベルトが設置されていたり、さとうきびが刈り取られた後の畑ではマルチングが行なわれていたり、流出防止対策が取られている箇所も複数確認された(地点)。



地点 グリーンベルトによる対策



地点 マルチングによる対策

2) 第2回調査(平成27年2月24日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-55に示した。調査日には9.5mmの雨が確認されたことから、雨天時の陸域調査として実施した。また、調査当日の毎時雨量を図4.4-56に示した。

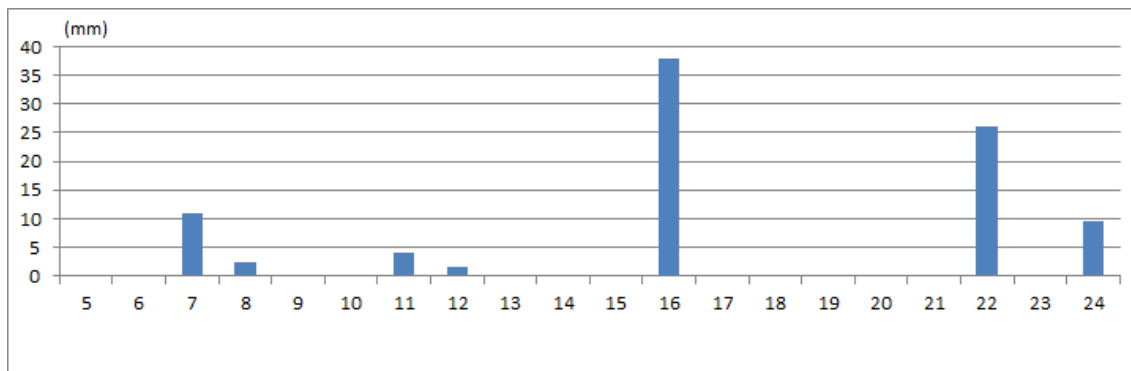


図 4.4-55 調査日前20日間の降雨状況(伊原間観測所)

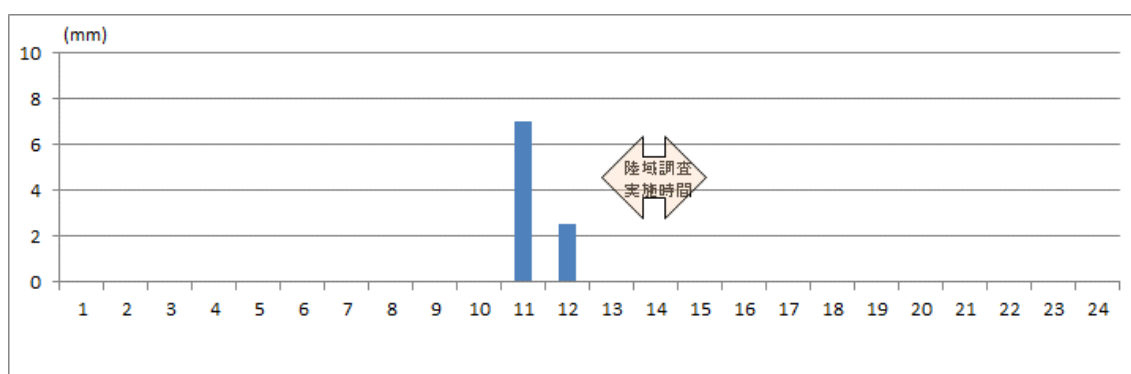


図 4.4-56 踏査当日の降雨状況(伊原間観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-57 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

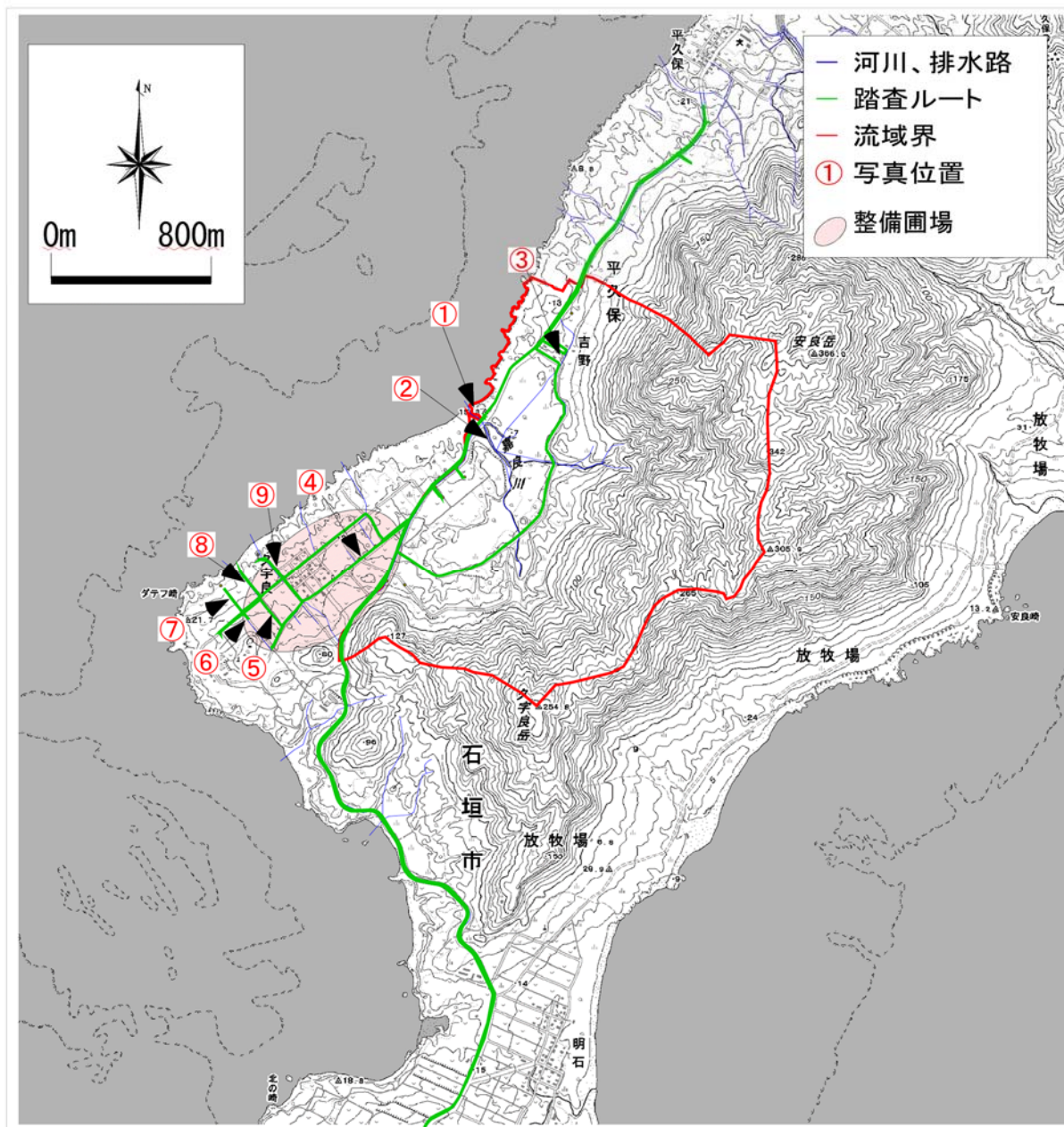


図 4.4-57 嘉良川河口 陸域調査概要(2回目)

- ・ 河口部において殆ど濁りは確認されなかった(地点)。
 - ・ 河口上流側においても濁りは殆ど確認されなかった(地点)。
- 10mm 程度の降雨量では、河口付近では大きな影響が出ないと考えられる。



地点 河口域(濁り無し)(第1回目地点)



地点 河口直上上流(濁り殆ど無し)(第1回目地点)

- ・ H26 年度第 1 回調査時に確認された、草地造成工事は完了していた(地点)。
- ほとんどの箇所では草本が茂っており、赤土流出の可能性は少ないと考えられるが、一部には裸地が確認された。



地点 装置造成工事完了後の状況(第1回目地点)



地点 装置造成工事完了後の状況(第1回目地点)

- ・ 昨年度第 2 回調査時に確認した水路への赤土等の流出が懸念される箇所では、草本が周辺に茂り、赤土流出の可能性が減少した(地点)。



地点 流出する可能性がある地点(第1回目地点)



地点 溝の拡大写真(第1回目地点)

- また、グリーンベルトが設置されていたり、さとうきびが刈り取られた後の畑ではマルチングが行なわれていたり、流出防止対策が取られている箇所も複数確認された(地点)。



地点 グリーンベルト・マルチングによる対策

- 地点 においては、灌漑施設整備工事が確認された。規模は 100m × 100m 程度で赤土防止条例のかかる看板は確認されなかった。



地点 工事看板



地点 工事の状況

- 地点 においては、溜枡への土砂の直接流入しており、それに伴って貯留機能が低下し、濁水が流出する可能性が高いと考えられる。
- 地点 においては、裸地から側溝への赤土流出が確認された。



地点 畑に併設された溜枡の状況



地点 裸地の状況

(12) 大浦川河口

1) 第 1 回調査(平成 26 年 11 月 4 日実施)

(a) 降雨状況

調査日前 20 日間の降雨状況を図 4.4-58 に示した。調査日当日には雨が降らなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

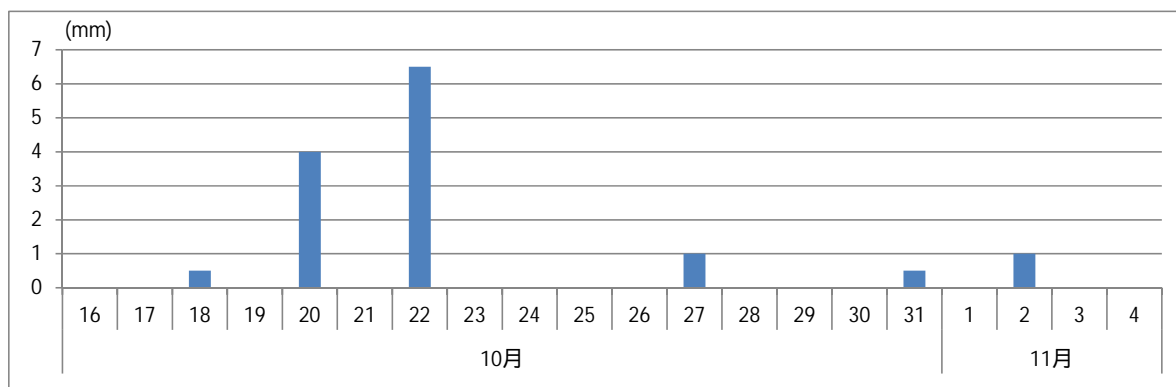


図 4.4-58 調査日前 20 日間の降雨状況(伊原間観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-59 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

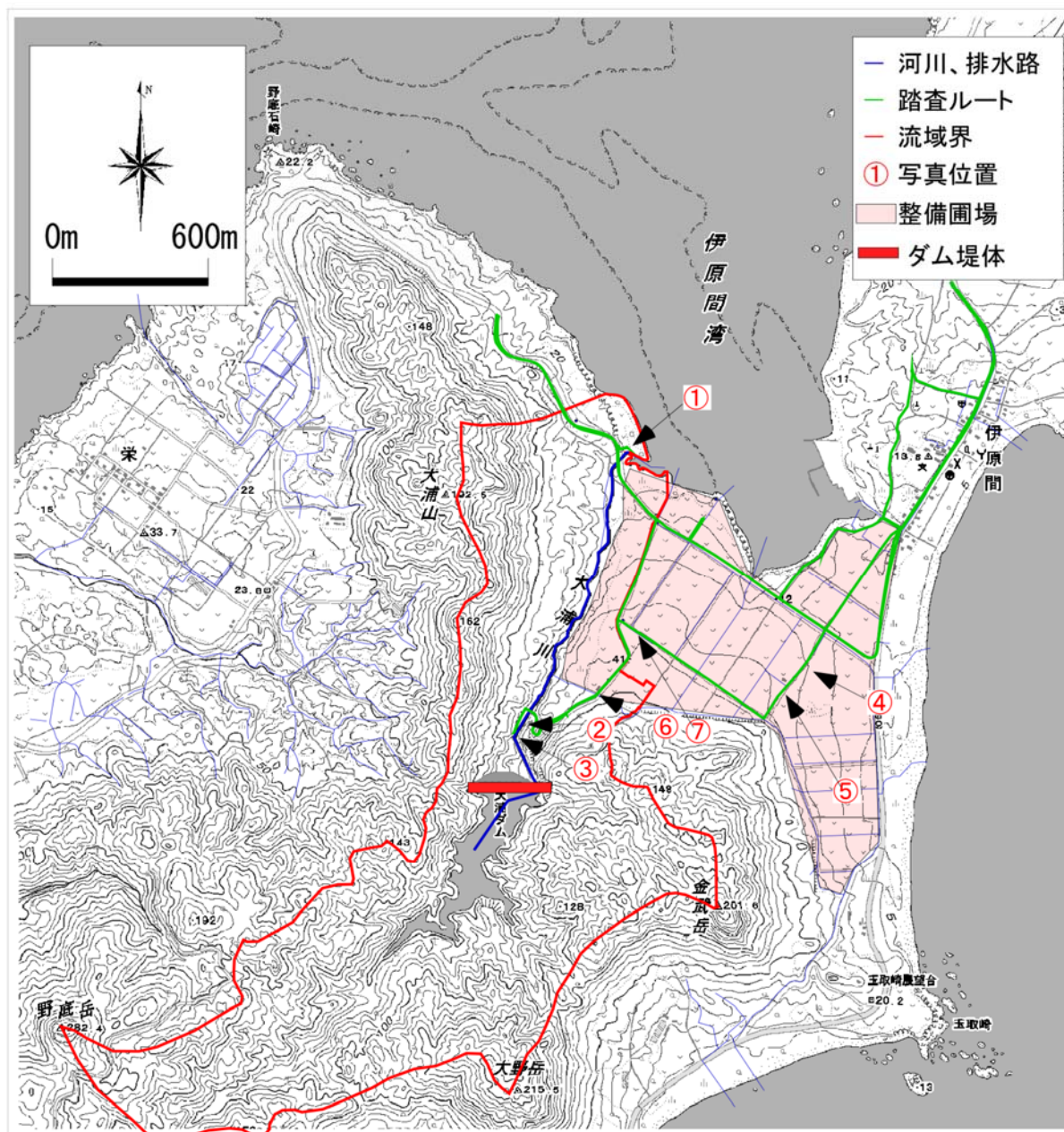


図 4.4-59 大浦川河口 陸域調査概要(1回目)

- ・ 河口部においては恒常的に泥が堆積しているものの、濁りは確認されなかった(地点)。また、中流域においても濁りは確認されなかった(地点)。



地点 河口域(泥が堆積)



地点 中流域(濁り無し)

- ・ 大浦ダム直下付近において重機による造成裸地が確認された。ただし、その縁には草本を残しており、赤土等流出が起こらないようにされていた(地点)。



地点 重機による造成裸地

- ・ 流域内には、さとうきび畑、牧草地などが広がっているが、本調査日には顕著な流出痕、および流出源となりうるような箇所は確認されなかった。(地点 ~)



地点 牧草地が広がる



地点 さとうきび畑が広がる



地点 サトウキビ畑横の水路



地点 牧草地と水兼農道